

授業科目名・形態	福祉行財政と福祉計画 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	高木 さひろ	実務経験の有無	無	開講期	3年後期

【授業の主題】

福祉サービスや支援は、国が基本的な政策の方向を示し、とりわけ1990年の福祉関係8法改正以降、市町村を基本とし、行政とサービス利用者である住民及び事業者が参加して策定された計画に基づいて行われている。社会福祉の専門職者が支援する際必要な知識、例えば、福祉行財政の実施体制や動向とその実際及び福祉計画の意義や目的、主体と方法等の知識を体得することを目的とする。

【到達目標】

福祉行財政の実施体制や動向とその実際及び福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点についての理解を基本的な目標とする。

【授業計画・内容】

- 第1回 福祉の法制度、福祉計画の概要
- 第2回 行政、社会福祉と法制度
- 第3回 福祉行政の組織、社会福祉基礎構造改革
- 第4回 財政と社会福祉、民生費
- 第5回 民間福祉事業者の財源、福祉サービス利用と費用負担
- 第6回 サービスに関する情報提供・相談、申請と決定、契約、サービス利用までの流れ
- 第7回 福祉行政における相談体制、専門諸機関、地域の相談システム
- 第8回 福祉行政機関の専門職
- 第9回 福祉計画の目的と意義
- 第10回 福祉計画の基本的視点
- 第11回 福祉計画の過程と留意点
- 第12回 福祉計画における二ーズ把握、計画の評価
- 第13回 福祉計画における住民参加
- 第14回 福祉計画の実際：老人福祉計画、介護保険事業計画、障害者計画、障害福祉計画、地域福祉計画等
- 第15回 地域共生社会について

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

関連する科目の講義内容で学んだ制度を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、児童・家庭福祉論

【教科書等】

社会福祉士養成講座編集委員会編10「福祉行財政と福祉計画」中央法規出版

【参考文献】

社会福祉小六法 中央法規出版

【成績評価方法】

レポート（10%）小テスト（10%）筆記試験（80%）の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

2015年から大きなテーマとなっている地域共生社会の議論に関心を持つこと。併せて福祉制度改革の動向にも注視すること。また法律的な内容も含まれることから、福祉小六法を持参すること。